新入職員研修　協働の大切さ再認識
部署越えて森林整備

9月17日、東広島市福富町の「かんほきょうの森」で、当協会の新入職員研修を実施し、今年度入職した17人が参加しました。

本研修は、森の整備活動を体験して、自然環境への理解を深めるとともに、職員同士の交流や協働の大切さを学ぶことを目的としました。

午前中は、アカマツ林の再生に向けて落ち葉かきを行い、将来マツタケが育ちやすい環境づくりに取り組みました。午後からは、間伐材や除伐材の整理作業を行い、森林が持つ水源涵養機能や適切な管理の重要性について学びました。参加者は互いに声を掛け合いながら作業を進め、協力することで効率よく作業が進むことを実感しました。

最後の振り返りでは、「普段関わる機会の少ない職員と交流できた」「困っている人に声を掛けることの大切さを学んだ」といった感想が聞かれました。また、「森林は適切に管理することで、豊かな環境や地域資源を育むことができる」「協会全体でひとつの目的に向かう仲間意識が生まれた」などの声もあり、森林整備への理解を深めるとともに、部署や職種の垣根を越えたつながりや協働の大切さを、改めて認識する機会となりました。

自然の中で仲間とともに汗を流した今回の研修は、森林の持つ価値や役割への理解を深めるだけでなく、互いを知り、支え合う関係づくりの第一歩となりました。当協会では、今後もさまざまな研修や体験の機会を通じて、職員同士のつながりや相互理解を深めるとともに、新たな価値を共に創り出せる人材と組織の育成につながる取り組みを企画していきます。

（総務企画課　杉岡 敦子）


間伐材や除伐材を適切な長さに切るなど、整理を行った


将来マツタケが育ちやすい環境づくりのため、落ち葉かきを行った

食品ロス削減の工夫学ぶ
持ち寄り食材でアレンジ料理

9月3日に、TEAMATEひろしま学習・交流会（第1回）「食品ロス対策エコクッキング」を開催し、4団体15人が参加しました。

今回の学習・交流会では、前半に広島市地球温暖化対策地域協議会のジョガニさんによる「ジョガニさんのやさしいカレー教室」を開催し、後半は各テーブルに分かれて、参加者が持ち寄った食材を活用した、食品ロス削減アレンジレシピの調理に取り組みました。

カレー教室では、ひよこ豆カレーとかぼちゃカレーの作り方を教えていただきました。カレーは、さまざまな食材を無駄なく活用できる料理です。冷蔵庫に残った野菜や規格外野菜をおいしく使うことができ、野菜の切れ端まで活用できるため、食品ロスの削減につながります。

アレンジレシピの調理では、食品ロス削減だけでなく、省エネルギーにも配慮した工夫が見られました。「赤玉ねぎの甘酢和え」や「そうめんうりとコリンキー（かぼちゃ）のサラダ」など、火を使わずに作れる料理を考案した班があったほか、「かぼちゃのシナモンシュガー焼き」や「7つの材料（ヨーグルト、卵、砂糖、牛乳、バニラエッセンス、小麦粉、油）のケーキ」など、複数の料理をオーブンでまとめて加熱することで効率的に調理した班もありました。

参加者からは、「冷蔵庫にある残り食材で作れるメニューなので参考になった」「たくさんの野菜を使うことができた」「子ども向けの料理教室でも作ってみたい」などの感想が寄せられました。

今回の体験や学びが、今後それぞれの協議会における食品ロス削減の取り組みにつながることを期待します。

（脱温暖化センターひろしま）


参加者が持ち寄った食材

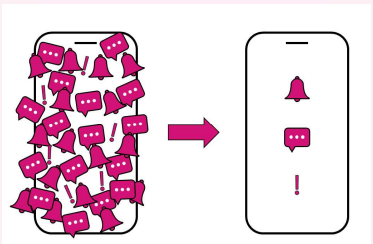

ジョガニさん（写真中央）にカレーづくりのポイントを教わる参加者

設定見直し不要な通知をオフ
基準は「見逃すと困るお知らせか」

安心して使うデジタル生活術③

第3回は、必要な連絡を見逃さないための工夫について、お伝えします。

通知が届くたびにスマホを確認したり、必要な連絡がほかの通知に埋もれたりしていませんか。通知の設定を見直すと、大切なお知らせを受け取りながら、不要な通知に振り回されにくくなります。



通知は画面に表示されるだけでなく、通知音やアプリのアイコンの数字（バッジ）などで、新しい情報やお知らせがあることを知らせてくれます。重要な連絡や必要な情報にも気づきやすくなるため、通知はスマホを便利に使うための大切な機能です。

一方で、通知が多すぎると煩わしく感じたり、大量の未確認通知がたまったりすることがあります。アプリは新しい情報を知らせたり、利用を促したりするために通知を送るため、気づかないうちに通知が増えてしまいます。また、アプリを使い始める際に、通知を許可したままになっていることも少なくありません。その結果、必要以上に多くの通知を受け取ってしまう場合があります。



未確認通知の数がバッジで示される

通知が多いと感じたら、まずは設定を見直してみましょう。アプリごとに通知の種類を選べるときは、「すぐに対応したい連絡か」「見逃すと困るお知らせか」を基準に、本当に必要なものだけに絞ります。ほとんど確認していないアプリや、重要なお知らせが少ないアプリについては、そのアプリの通知をオフにするのも良い方法です。

不要な通知を減らしておくと、通知欄が整理され、必要な連絡や大切なお知らせに気づきやすくなります。自分にとって必要な通知だけを残すことで、スマホをより快適に、安心して使えるようになります。

（情報管理課　神野 貴弘）